

海外自治体幹部交流協力セミナー2018（パリ事務所管内）

事業概要

テーマ：地域資源を生かした地域振興と情報発信

海外参加者数：3名

イル・ド・フランス州 欧州・国際協力・観光局 局次長 ディディエ・ジャン
 モデル（イル・エ・ヴィレーヌ県） 事務総長 グザヴィエ・ボワヴェール
 ジロンド県 実績評価局 局長 フランソワーズ・クレッシュ・デル・テデスコ

日程：

日程	内容
8月6日（月）	○来日直後オリエンテーション
8月7日（火）	○講義：日本の地方行政の概要（明治大学木村俊介教授） ○視察・体験：東京染ものがたり博物館 ○CLAIR 主催歓迎夕食会
8月8日（水）	○視察：浅草寺・仲見世通り・雷門 ○講義：地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割 ○視察：香川・愛媛 せとうち旬彩館 ○移動：香川県へ
8月9日（木）	○視察：香川県立ミュージアム ○視察：栗林公園 ○講義：香川県西原副知事表敬、自治体概要説明 ○香川県主催歓迎夕食会
8月10日（金）	○視察：ヤマロク醤油 ○視察：森國酒造 ○視察：小豆島オリーブ公園 ○視察：小豆オリーブ研究所 ○ホストファミリー対面式
8月11日（土）	○ホームステイ
8月12日（日）	○ホームステイ ○視察：中西珍松園（盆栽の里）
8月13日（月）	○体験：善通寺いろは会館（宿坊体験） ○視察：金刀比羅宮、表書院、金丸座 ○体験：うどん作り体験（中野うどん学校） ○意見交換会 ○CLAIR 主催帰国前夕食会
8月14日（火）	○移動：東京都へ
8月15日（水）	○帰国

【8月6日（月）】

オリエンテーション

【8月7日（火）】

（1）講義：日本の地方行政の概要

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による日本の地方自治講義に関する講義をクレア本部会議室にて開催。参加者からは、都道府県の財政面でフランスと扱いが異なる部分について、時間いっぱい質問があった。

（2）視察・体験：東京染ものがたり博物館

古くから東京の地域資源である江戸更紗、江戸小紋といった伝統工芸を継承している、株式会社富田染工芸にて、体験学習を実施。まずは、東京染小紋の伝統工芸士である富田篤館長から、東京における染色業の歴史や、新宿区が染工業の地場産業として栄えた理由について講義を受講したのち、実際にふくさ作り体験を実施した。江戸小紋の細やかな紋様に、参加者は驚嘆していた。



視察・体験：東京染ものがたり博物館

（3）クレア主催歓迎夕食会

グランドアーク半蔵門にて開催。参加者3名、クレア側出席者5名、通訳者1名の9名が参加。

【8月8日（水）】

（1）視察：浅草、浅草寺、仲見世通り、雷門

浅草寺近辺を訪問し、日本の文化に触れた。台風が接近しており、天気が悪い中での視察となったが、参加者は、日本の神社仏閣等に興味があり、建築物の前で足を止めては、写真撮影を行ったり、土産物を熱心に見て回り購入したりするなど、それぞれ満喫していた。

（2）講義：地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割

視察：香川・愛媛 せとうち旬彩館

一般財団法人地域活性化センター「地域づくり」副編集長、畠田千鶴広報室長による、地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割についての講義を受講。参加者からは、自治体が主体となって取組を行っており、興味深い取組みだ、との意見が聞かれました。講義後は、実際に香川・愛媛せとうち旬彩館を訪れ、香川県の東京における販売活動の様子を視察しました。



講義：地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割について

【8月9日（木）】

（1）視察：香川県立ミュージアム

当初、行程にはなかったが、台風が接近し、予定より1日早く香川県入りしたため、行程に追加していただき、実施した。展示品には、古来のものもあり、参加者は興味津々であった。また、十二単と、甲冑の試着コーナーが併設してあり、実際に試着した参加者は、普段とは異なる着物や甲冑姿に満足している様子だった。

（2）視察：栗林公園

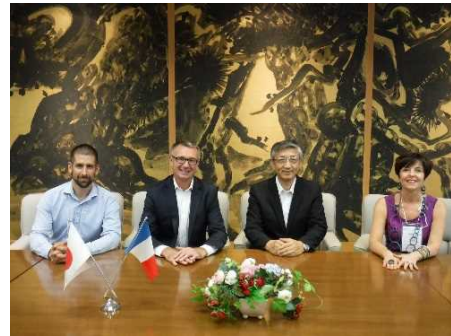
夏の野外での視察ということで、大変暑い中で視察だったが、庭園の美しさもさることながら、和船周遊や抹茶体験などの文化体験を実施できたことで、参加者の満足度も非常に高い視察先であった。



視察：栗林公園にて記念撮影

（3）香川県西原副知事表敬

香川県副知事への表敬訪問を実施。西原義一副知事と、淀谷圭三郎知事公室長にご対応いただいた。「香川県で楽しみにしていることは何ですか？」という副知事の問いに、参加者の、「既に出会っているが、これからも素晴らしい人たちに出会えるのが楽しみだ」との言葉が印象的だった。



視察：香川県西原副知事表敬

（4）香川県の概要説明等

香川県のインバウンド関連部署から、香川県の概要について、国際観光の取組みについて、県産品振興の取組みについて説明がなされた。また、高松市観光交流課より、高松市と、フランス・トゥール市の交流について説明がなされた。時間の都合上、意見交換の時間を多くとることはできなかったが、資料の中であった「うどん県それだけじゃない香川県」というキャッチフレーズに対して、外国人の感覚として、否定的な意味があるので、海外に出すときは書き方を考えた方が良く、といったアドバイスが出ていた。

（5）香川県主催歓迎夕食会

アリスイン高松にて、参加者3名、香川日仏協会1名、香川県4名、クレアスタッフ3名、通訳1名の計12名で実施。

【8月10日（金）】

（1）視察：ヤマロク醤油株式会社

小豆島で400年の伝統を誇り、4大産地の一つに数えられ、自社製品をフランスに輸出しているヤマロク醤油株式会社を訪問。参加者も試食する機会があったが、参加者は薄味のさっぱりした醤油を好んでいた。



視察：ヤマロク醤油株式会社社長と参加者

（2）視察：森國酒造

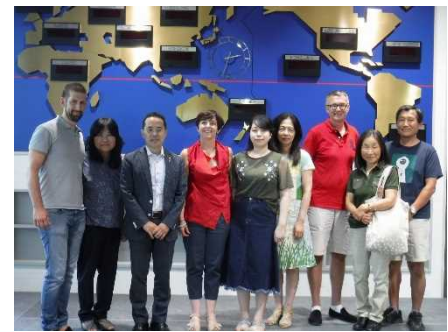
地酒を製造・販売し、フランスにも日本酒を輸出している森國酒造を訪問した。日本酒の複数銘柄をテイスティングした参加者は、社長に対して感想を各自述べており、社長も熱心に耳を傾けていた。

（3）視察：小豆島オリーブ公園

小豆島オリーブ公園では、オリーブ記念館で、日本のオリーブ栽培の説明を受けた後、園内を視察し、オリーブを使った商品の試飲を行った。

（4）視察：小豆オリーブ研究所

農業試験場小豆オリーブ研究所にて、オリーブ栽培について説明を受けた。香川県のオリーブオイルは、国内で唯一、国際的に通用する規格で格付けされており、高い品質を誇っている。地域資源を生かし、どのようにして付加価値を高めていくか試行錯誤した結果、香川県では品質を上げることで、違いを生み出すこととしている。



ホストファミリーと参加者

（5）ホストファミリー対面式～ホームステイ

香川県国際交流会館にて、参加者が実施する2泊3日のホームステイを受け入れして下さるホストファミリーが集合し、ホストファミリー対面式を実施した。参加者はそれぞれのホストファミリーとともに過ごし、日本人の本当の生活を満喫し特別な体験ができた、と大好評であった。

【8月12日（日）】

（1）視察：中西珍松園（盆栽の里）

盆栽の里鬼無町にある中西珍松園を訪問した。盆栽はフランスでも人気があるようで、参加者は皆盆栽に興味を示していた。この盆栽はいくら？と聞いた参加者はその額の高さに驚いていた。



視察：中西珍松園（盆栽の里）

【8月13日（月）】

（1）体験：善通寺いろは会館（宿坊体験）

善通寺いろは会館にて宿坊体験を実施した。朝5時半から始まる朝のお勤めにも、参加者は苦にする様子も見せず熱心に取り組んでいた。また、境内の視察や戒壇巡りも実施した。



視察：金丸座

（2）視察：金刀比羅宮、表書院、金丸座

さぬきこんぴらさんとして古くから信仰の対象とされてきた金刀比羅宮を訪問。表書院や表参道を散策したのち、現存する最古の芝居小屋である金丸座を視察。廻り舞台やスッポン、明り窓など金丸座の数々の仕掛けを見ることができた。参加者は、カツラを被り大見得を切ることで、日本の伝統文化に触れることができ、満足していた。

（4）体験：うどん作り体験（中野うどん学校）

中野うどん学校でうどん作り体験を実施した。参加者は自分で打ったうどんに舌鼓を打っていた。

（5）意見交換会

香川県庁にて、意見交換会を実施。最初に参加者から自分の自治体に関するプレゼンテーションを実施したのち、意見交換の時間を設定した。香川県からは、ヨーロッパからの集客を増やすためにはどのようなスタイルの旅行を提案するのが好まれるか？といった質問があり、参加者は、香川県を訪問するヨーロッパからの旅行者は、本物の体験を求めて旅行に来るので、地方でしか味わえない、地方の暮らしを体験できるようにすれば良い、との回答を得るなど、大変実り多いものとなった。



意見交換会

（5）CLAIR 主催帰国前夕食会

とり料理「かど弦」にて、参加者3名、香川県職員3名、クレアスタッフ4名、通訳1名の計11名で実施。

【8月14日（火）】

（1）移動：東京都へ

【8月15日（水）】

（1）帰国